

# 滋賀医科大学大学生協 年末お楽しみ企画



[ 組合員交流 ]

## 取り組み概要

日時：12月24日(木)  
場所：滋賀医科大学食堂  
参加者数や組合員の反応：  
約90名の組合員が参加。  
抽選会では大いに盛り上がっていた。

背景や概要：例年行われていた餅つき企画に変わり、特別デザートの販売と抽選券付切り餅の配布を行った。

途切れさせずに

組合員に「お楽しみ」を

### POINT.1 カタチを変えて



滋賀医科大学大学生協では、例年年末には、組合員の学生と一緒に餅つきをして交流する「餅つき企画」が行われてきました。しかし、今年は新型コロナウイルスの影響により、餅つきをすることが出来なくなりました。世の中にも暗い話題が多い為、なんとかして組合員に楽しさを届けられないかと、理事会などを通して議論がなされ、抽選券付きの切り餅の配布と、特別デザートの販売が決定しました！  
カタチは変わっても、組合員に楽しい時間を過ごしてもらおうという想いに変わりは無く、例年続くお楽しみ企画を途切れさせることなく開催しました！

### POINT.2 組合員の笑顔と元気

今回の企画の目玉でもあった抽選券付き餅配りには多くの学生が足を運んでいました！コロナ対策もあり抽選会は15分という短い時間で幕を閉じましたが、自分の番号が当たるかどうか、友達と一喜一憂して盛り上がる組合員の姿が見られました！生協の店舗や取り組みを通して組合員同士が笑い合う時間は、コロナ禍では減少しています。そのような中でのこうした貴重な時間は、「大学生協の魅力」を組合員に発信する、とても良い機会となっていました！



### POINT.3 事務局からのコメント



今回の「お楽しみ企画」には、他大学でも取り入れることの出来る教訓点があったと思います！  
それは、例年とカタチを変えて企画を成立させた点です！新型コロナウイルスの影響により、どこの大学生協・学生委員会も、思っていたような活動が出来ていない現状だと思います。そのような中でも、「今できる事」を模索してカタチにすることで「組合員のより良い生活」を実現しようとした姿勢は、どこの大学生協・学生委員会においても見習うことの出来るポイントだと思います！

